

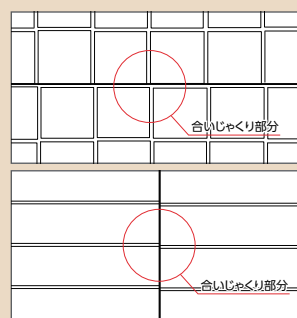
Fu-ge 施工資料



- ・本施工資料では主にドライジョイント工法による施工方法をご紹介します。
シーリング納めの施工方法は最新の設計施工資料集をご参照ください。
- ・水平方向に連続する壁面が長い建築物に四方合いじゃくり品を施工する場合は、緩衝目地(エクスパンションジョイント)として15m以内毎にシーリング目地を設け、横ずれ防止のビス留めをしてください。(詳細は最新の「COMMERCIAL WALLカタログ」をご参照ください。)
- ・サンルーム、風除室、庇など後付けの付帯工事をご検討の際は、事前に取り扱いメーカー、施工業者様へご相談ください。
- ・最新の知見や検証結果に基づき、予告なく記載内容が変更になる場合がございます。最新の情報は弊社ホームページで随時更新しております。

■ 四方合いじゃくり品についての外観上のご注意

- ・弊社四方合いじゃくり品は「実(さね)」どうしを繋ぎ合わせて施工します。このため板間の繋ぎめが見える設計となります。日の当たり方や見る角度によっては影が発生する場合や、板間の繋ぎめや隙間が目立つ場合がございます。隙間が生じた場合でも、止水性に問題はありません。
- ・化粧目地について、化粧目地寸法精度は±1.5mmとなっていますので、設計上の目地のずれを含めると、接合部で化粧目地の通りが2mm前後ずれる場合がございます。
- ・自然の風合いを演出するために柄デザインの特性上凹凸がありますので、板間や出隅部との接合部で段差が生じる場合がございます。



■ 隙間補修用パテ材についてのご注意

- ・四方合いじゃくり品の施工は極力隙間ができないよう、丁寧に施工してください。外観上隙間が生じた場合でも、止水性や外壁の性能に影響はありません。
- ・四方合いじゃくり品左右接合目地の隙間が目立つ場合のみ、隙間補修用パテ材を使用し必要最小限の範囲で補修してください。
- ・同梱のマスキングテープでしっかり養生を行い、パテ材がはみ出さない様に十分に注意して施工してください。
- ・本パテ材は釘・ビス頭部の補修やキズ・欠けの補修には使用できません。また、パテ材に塗装はできません。
- ・本パテ材の色はイメージ色で調色しています。多色塗装品など、パテ材の使用により意匠性を損なう場合は、状況に応じてオート化学工業(株)製の「オートアドハー3500」(+補修液)を使用してください。
- ・パテ材は、使用する環境や状況によって短期間で切れや褪色(白化)が起きたり、汚れが付着する場合がございます。色違い、切れ、白化、汚れ等のパテ材に関わる事項は免責とさせていただきます。

■ 国土交通大臣認定番号

		Fu-ge PREMIUM	Fu-ge
区分	部位	認定番号	
1時間準耐火構造	外壁(耐力)	QF060BE-9225	
	間仕切壁(耐力)	QF060BP-9069	
	柱	QF060CN-9031	
45分準耐火構造	外壁(耐力)	QF045BE-9226	
	間仕切壁(耐力)	QF045BP-9070	
	柱	QF045CN-9032	
防火構造	外壁(耐力)木造下地	PC030BE-9201	
	外壁(耐力)鉄骨下地	PC030BE-9202	
準不燃材料		QM-0639 (基材名称:木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板)	

※防・耐火大臣認定が必要となる場合は、あらかじめ大臣認定別添の記載事項をご確認ください。

注)こちらでご紹介する「ドライジョイント工法」は、鉄骨下地ではご使用いただけません。Fu-ge(シーリング納め)の場合は、鉄骨下地でご使用いただけます。